

# 平成29年度 八洲学園大学国際高等学校事業計画書

## 1. 施設の概要

### (1) 所在地

学校名	所有区分	郵便番号	学校（会場）所在地	電話番号	FAX 番号
八洲学園大学国際高等学校	法人所有	905-0207	沖縄県国頭郡本部町備瀬1249	0980-51-7711	0980-48-4115

## 2. 学生（生徒）の概要

### (1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（平成29年3月1日現在）

設置課程	設置学科	入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③技能連携 在籍者数 (人)	④聴講生数 (人)	収容率 (%) $(②+③) \div ① \times 100$
通信制課程 (広域)	普通科	—	5000	980	0	4	19.6

### (2) 平成29年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧

	入学者数 (途中転編含む)	卒業者数	転学者数	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	430	300	10	5	50	35
聴講生	8					

## 3. 教職員関係

### (1) 平成28年度管理職の概要

職名	氏名	備考
校長	和田 公人	留任
教頭	中村 成希	留任

(2) 平成28年度教職員の概要(平成28年3月1日現在)

		合計(人)	沖縄	横浜	東京	大阪
教員	本務	11	10	1	0	0
	非常勤	8	8	0	0	0
職員	本務	2	2	0	0	0
	兼務	6	4	2	0	0

八洲学園大学国際高等学校の平均年齢は教員40.5才、職員39.8才である。(平成29年3月1日現在)

#### 4. 事業の概要

##### (1) 事業の概要

###### ① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
29～	学校独自科目の充実	学校独自科目として生徒のキャリアプラン形成にかかる4科目を開講する。うち、3科目については校外実習・職業体験等にかかる「みなし修得」科目とし、1科目は求職スキル涵養などのキャリアデザインに関する科目とする。	平成28年度に沖縄県私学審議会の認可を受け指導計画を作成した。平成29年度4月から新たに開講し、生徒・入学検討者向けの案内を展開する。
25～	「高校卒業+αコース」の充実	入学検討者にとっての当校の魅力を高めるとともに、在校生へのキャリアプラン構築支援のため、さまざまな資格取得やスキル獲得のための格安な学習選択を提供する。	平成28年度は、「パソコン技能コース」「公務員初級受験コース」を追加設置するとともに、「資格取得コース」を20種類と充実させた。平成29年度は、単位の「みなし修得」制度とリンクさせ、生徒への積極的な利用を図る。
23～29	レポート内容の改善	レポート自習のしやすさの工夫をして、生徒のいっそうの学習理解をはかる。また、出題に、学校の特色や沖縄の立地を生かした問題を積極的に配置する。	平成29年度から開講科目の1/3の科目の教科書が改訂されるのに合わせてレポートを改訂する中で、出題全般を見直す。
22～	高大連携の具体化	高校と大学の連携・接続を深めることで、内部進学者をいっそう増やすと共に、大学のある学園の高校として入学見当者からの魅力向上をはかる。具体的には大学の講義の高校生受講、大学教官の講演などの交流活動と、大学パンフレットの高校での配布や校内情報誌「ゆんたく」での大学記事掲載、不登校児への高校教育活動を大学講義のなかで紹介するなどの事業を実施する。	平成28年度は高校訪問活動での大学パンフレットの積極的配布、高校の地域支援活動であるひきこもり支援活動への大学教官の派遣（年2回）や大学の教員免許更新講習試験会場の設置を行ない、大学への進学者を連続して輩出した。平成29年度も施策を継続する。

23～	進路指導の強化と進路捕捉率の向上	生徒の集中スクーリング参加、職員室来室の機会を有効に生かして、キャリア教育・進路指導を行うとともに、外部の合同企業説明会・就活イベントに学校として積極参加し、就職機会の拡大をはかる。	平成29年度については、生徒数の増加の著しい地域での指定校推薦の早期からの新規開拓を図ってゆく。
22～	地域貢献・地域交流	地域海岸の清掃ボランティア活動、地域の恒例行事となった少年サッカー大会を主催し、地域貢献・地域交流を通して学校の知名度と好感度を浸透させる。地元教育委員会及び商工会の賛同・協賛も頂いている。 「一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会 沖縄支部」に加盟し、地域のひきこもり支援者普及とスキルアップに貢献することで学校の知名度向上と入学見当者との遭遇機会向上をはかる。	学校近隣の清掃や地域行事への参加、そして本学主催の地元チームのサッカー大会は地元から高い評価を頂いている。平成29年度も引き続き地域活動・参加を継続する。 外部講師を招いて「ひきこもり支援」に関する講演会&勉強会を実施する。
22～	サポート校の開拓と支援	小規模塾や高等専修学校などのサポート校開拓とサポート校の募集支援・連携した広報活動などの支援活動を通じて、生徒募集のチャンネル増を維持・拡大させる。	平成29年度は、平成28年度までに各地に開拓したサポート校の支援と、ひきつづき県内外のサポート校新規開拓を行なう。
28～	高等学校等就学支援金の制度変更への対応	他の広域通信制高校の不祥事により、昨年度に続き平成29年度も高等学校等就学支援金制度や申請様式が変更されるので、学校でも生徒さんへの案内や事務の再整備を行う。	平成29年度4月1日に施行される就学支援金関係例規の改正に対応して、生徒さんへの案内文書、入学検討者への案内書類、学校WEBサイトの学費関連ページを刷新するとともに、制度改定に沿った就学支援金事務体制の整備を行う。
23～	生徒の問題行動の未然防止	本校での生徒指導のあり方を見つめ直し、生徒対応の方法・学校ルールのアナウンスを再考慮して問題行動の未然の防止に努める。担任と生徒指導部だけでなく、全教職員での確認や研修、マニュアル整備を通して、学校力として生徒対応に当たる。	平成29年度は、生徒さんへの普段の働きかけと、ホームルームでの生徒さん向け問題行動確認試験を強化し、問題行動の芽の段階での予防的措置を徹底させる。

② 施設・設備の整備計画

年 度	事 項	事業規模等	事業費	財 源	実施時期	備 考
28～ 30	宿舎棟のエアコンの更新	中規模	4,000,000	管理修繕費	平成29年度の生徒募集状況を見ながら、毎年1フロアずつ更新する。	毎年、台風による宿泊棟エアコンの故障が相次いでいて生徒さんの宿泊アメニティの維持が困難になってきたため
28～ 30	校舎宿舎のベッドの更新	中規模	1,500,000	管理修繕費	平成29年度の生徒募集状況を見ながら、毎年1フロアずつ更新する。	17年前に設置した宿舎木製ベッドの経年劣化や破損が相次いでいるが、製品が生産終了となり補充がきかないため
22～	PC、PC周辺機、印刷機などの設置	小規模	500,000	備品補充費	平成29年度は、故障機器の置き換えを中心に行う。	

③ 授業料変更等

年 度	事 項	概 要
29	計画なし	

④ 卒業者数、就業者数の見込みについて

平成28年度は、約323名の卒業者数を見込んでいる。

学校把握新規就業者数は、約20名を見込んでいる。

⑤ 生徒の就職、進学状況について

センター試験受験者が増えてきており、医学・看護・福祉系への志願者増や芸術系大学志願など、高等教育への進学意欲がいよいよ高まっている。また、今年度も八洲学園大学への進学者を2名見込んでいる。就職については、メジャーデビューしたラッパー・スカッシュ

世界ランク一位者・国内外の職業バレエ団への入団者など、当校の注目度や学校価値のあがる人材を輩出するようになった。

⑥ 教職員採用・退職計画

年 度	事 項	概 要
28	退職者（教職員2名、パート0名）	
29	教職員採用（常勤講師3名）	常勤講師（有期12名）、非常勤講師（有期7名）、常勤職員（有期2名）、非常勤職員（有期6名）

5. 財務の概要

平成27年度末に、当校の提携していたサポート校が買収されてサポート校所属生徒の大量転出があったが、平成28年度は支出を絞り沖縄県内外の志願者を開拓することで、平成28年度は事業活動費ベースで2千万円余の黒字を達成した。